

会議結果報告書

1 会議の名称

令和8年度光市人権施策推進審議会

2 開催日時

令和8年8月10日（月）10時00分～11時30分

3 開催場所

光市役所 3階 大会議室1・2号室

4 出席人数

委員12人（6人欠席）、事務局6人（人権推進課・人権教育課）

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者

1人

7 会議の議事録

（1）開会

（2）委嘱状交付

（3）市長あいさつ

（4）委員紹介

（5）会長、副会長選出

（6）諮問

（7）議題

ア 光市人権施策推進指針の改訂について（事務局説明）

【質疑・意見等（要旨）】

（委員）

近年の新法（カスタマーハラスメント等）の取扱い、インターネット関連法の反映について。

（事務局）

カスタマーハラスメントは未記載のため、検討し、適切な項目に追加予定。

インターネット関連は12「インターネットによる人権侵害」に情報開示等を含め追記予定。

男女共同参画関連法（DV防止法等）は1「女性の人権」欄に反映。

6「外国人の人権」欄にヘイトスピーチ解消法を追記予定。

感染症関連やハンセン病関連法改正、再犯防止計画、個人情報保護条例、犯罪被害者基本計画・条例等も順次追記予定。

(委員)

改訂に当たり国の新法や市独自の取組も反映するよう要望する。

(事務局)

了承。

(委員)

改訂にあたるスケジュールは。

(事務局)

今年度10月に市民意識調査実施。集計は年内予定。

来年度4月頃の本審議会第1回で調査結果を説明し、骨子案を提示予定。以降、複数回の審議を経て市長へ答申、議会へ報告。年度内完成をめざすが、審議状況によって延長の可能性あり。

(会長)

平成29年版からの変化や新たな人権課題の反映が必要である旨確認。

分野別施策の審議にあたり、関係法令・規則・細則等の根拠資料を提示し、分野ごとの専門委員と照合のうえ審議を進めるよう要請する。

(委員)

前回改訂以降、社会の変化により分野間の境界があいまいになっており、例えば「プライバシーの保護」と「インターネットによる人権侵害」の線引きが難しいと指摘。法令等を根拠に整理する重要性を述べつつ、網羅し過ぎず根拠を基に簡潔で分かりやすい指針とすることが望ましい。審議を重ねる中で整理が進むだろうと期待。

県内19市町のうち、全てが人権推進指針を策定しているのか、及び本市と県の改訂のタイミングや関係について次回説明を要望する。

(事務局)

山口県の人権推進指針は令和6年12月に改訂され、前回指針をベースに更新された形である。県内の策定状況については、周南市（昨年度）、宇部市等は策定済みで、下松市など未策定の市町もある。次回に市町ごとの策定状況一覧を提示する。

イ 人権に関する市民意識調査について（事務局説明）

【質疑・意見等（要旨）】

(委員)

回答方式について、「2つ選べ」「3つ選べ」「フリー」など選択数の指定は誘導の恐れがあり不適切ではないか。光市独自の調査として「複数回答可」など明確にすべき。選択数の指定は結果に影響するため見直しを求める。

さらに、回答項目の順序について、「その他」が先にあり、その後に「特にな
い」「わからない」とある構成は違和感がある。順序を「特にな
い」「わからない」「その他（具体的記入）」のように整理するよう要望する。

（事務局）

検討する。

（委員）

無作為調査（１８歳以上、１，５００人）では困っているこどもや入院患者
らの声が拾いづらい。こどもや入院患者等の実態が分かる調査の仕組みを別途
作ることを要望。

（議長）

分野別の会議で問題が上がることはあるだろうが、無作為調査では限界があ
る。

（事務局）

こどもを対象にした調査（例：１５歳以上への拡大）は検討課題であり、過
去に「なぜ１８歳以上か」との指摘もあった。こども向けは用語等で回答困難
な点があるため、高校生以上（１５歳以上）など対象設定の工夫が考えられ
る。

（委員）

若年層の回答率向上のため、ＱＲコードやインターネット回答の導入を提
案。書面回答は高齢者に偏りやすいため、オンライン手法の活用を求める。

（委員）

小学生に現行のアンケート文言は難しい。学年ごと（低・中・高学年）で配
慮が必要。学校では毎週１回、それ以外にも年２回の人権に対する調査や聞き
取りを実施しており、それらの結果を本調査とは別に活用してこどもの声を把
握することは可能。中学生についても年齢差に配慮が必要で、成人用調査をそ
のまま下位年齢に適用するのは難しい。

（委員）

１５番「環境に関する問題」の具体的内容を教えて欲しい。

（事務局）

環境に関する個別質問は設定していない。過去も環境に関する詳細な質問は
行っておらず、市の取組（例：光市自然敬愛都市宣言等）をタイトルとして盛
り込む予定。

（委員）

「環境」は自然環境や住環境など、捉え方に幅があるための質問だった。自
然環境ということで理解した。

（委員）

男女共同参画やトランスジェンダーに関する悩み（特に幼児・児童の相談先
不足）を指摘。

(委員)

調査票について、項目数等が多く回答をするのに負担を感じるため、もっとスマートで見やすいレイアウトに改善してほしい。

(事務局)

レイアウト改善やQRコード等、オンライン回答の導入を含め、全体の見直しを検討する。

(8) その他

(委員)

人権推進審議会名簿の男女表記は外してほしい。

(事務局)

善処する。

(9) 閉会